

2021年8月期第2四半期 決算説明会資料

2021年4月14日

株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長
伊藤 雅文

2021年8月期 第2四半期決算概要

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2020年8月期 第2四半期		2021年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2020.10.12発表)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予想比 (%)
売上高	2,194	100.0	3,441	100.0	2,714	100.0	23.7	△21.1
売上総利益	617	28.1	797	23.2	872	32.1	41.3	9.4
販売管理費	453	20.6	537	15.6	454	16.7	0.2	△15.5
営業利益	164	7.5	260	7.6	417	15.4	154.3	60.4
営業外収益	5	0.2	0	-	1	0.0	△80.0	-
営業外費用	14	0.6	18	0.5	19	0.7	35.7	-
経常利益	156	7.1	241	7.0	400	14.7	156.4	66.0
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	156	7.1	241	7.0	400	14.7	156.4	66.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	140	6.4	215	6.2	273	10.1	95.0	27.0

(注) 前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

海外向け太陽電池製造装置の納入時期が変更され、売上計上時期が下期へ後ろ倒し（期ズレ）となった。下期から上期へ前倒しで売上計上した案件もあったが、全体として期初予想よりも減収となった。

■売上総利益

業務効率向上及び材料費削減等による原価低減で利益率が向上した。

■販売管理費

主に以下の要因で全体的に減少傾向となった。

- ・開発装置部品の納入タイミングの遅れ等により、研究開発費の一部が下期へ後ろ倒しとなった。
- ・海外向け税金（租税公課）の発生が、売上高の期ズレに伴い、下期へ後ろ倒しとなった。
- ・コロナに伴う緊急事態宣言の影響で旅費交通費が減少した。

■営業利益・経常利益

売上総利益の増加と販売管理費の減少により、期初予想より増益となった。

■親会社株主に帰属する当期純利益

- ・米国向け売上高の増加に伴い連邦税（約80百万円）を申告し、税金計上した。
- ・しかしながら、経常利益の増加に伴い、当期純利益も期初予想より増益となった。

2021年8月期 第2四半期決算概要 装置関連事業

(単位：百万円)

	2020年8月期 第2四半期		2021年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2020.10.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	1,864	100	3,275	100	2,541	100.0	36.3	△22.4
売上総利益	460	24.7	738	22.5	803	31.6	74.6	8.8
販売管理費	157	8.4	225	6.9	137	5.4	△12.7	△39.1
営業利益	302	16.2	512	15.6	665	26.2	120.2	29.9

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- ・First Solar社に前期納入したラインのセットアップを実施
既設ラインの改造や追加装置も売上計上したが、一部装置で下期へ期ズレが発生
- ・米国企業へ住宅用太陽光パネルの製造装置を売上計上
- ・FA装置は主に好調な電子部品業界向けに搬送装置等を売上計上
- ・部品販売は期初予想を上回った

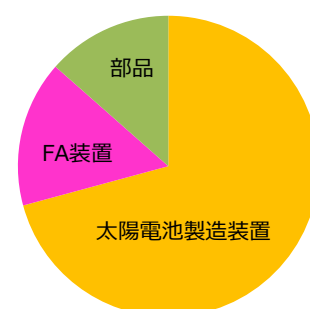
■売上総利益

業務効率向上及び材料費削減等による原価低減で利益率が向上

■販売管理費

研究開発費及び租税公課の後ろ倒し、旅費交通費の減少

売上高の内訳



2021年8月期 第2四半期決算概要

環境関連事業

(単位：百万円)

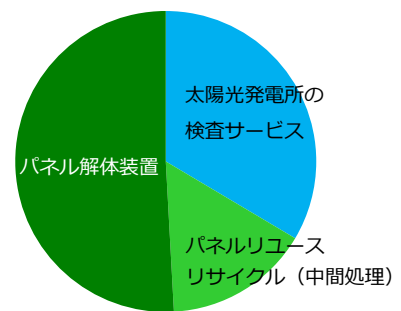
	2020年8月期 第2四半期		2021年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2020.10.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	330	100	166	100	173	100.0	△47.6	4.2
売上総利益	157	47.6	58	34.9	68	39.3	△56.7	17.2
販売管理費	27	8.2	28	16.9	28	16.2	3.7	0.0
営業利益	129	39.1	30	18.1	39	22.5	△69.8	30.0

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- ・大規模太陽光発電所の検査サービスを予定通り実施
小型～中型発電所のスポット検査が期初予想を上回った
- ・リユース及びリサイクルはほぼ期初予想どおり
- ・パネル解体装置は期初予想どおり
 - ガラス分離装置：1台
 - セミオートフレーム・J-Box分離装置：2台

売上高の内訳



■売上総利益

稼働率の向上、パネル解体装置等で期初予想より向上

■販売管理費

ほぼ期初予想どおり推移

Copyright © 2020 NPC Incorporated. All rights reserved.

4

2021年8月期 第2四半期決算概要

受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2020年8月期 第2四半期		2021年8月期 第2四半期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	2,454	8,083	1,710	△30.3	2,637	△67.4
環境関連事業	174	132	65	△62.6	89	△32.6
合計	2,628	8,215	1,775	△32.5	2,727	△66.8

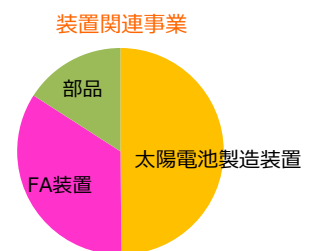
(注) 前期比はその増減比です。

■装置関連事業

全体的に低調となった

- ・太陽電池製造装置は客先の新規プロジェクトに時間を要している
- ・FA装置は米国の建材関連メーカーから真空ラミネーターを受注
国内は好調な電子部品業界以外は低調となる
- ・部品受注は好調

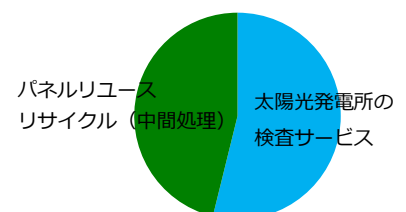
受注高の内訳



■環境関連事業

- ・検査サービスとパネルリユース・リサイクルは概ね予定通り
- ・パネル解体装置では、顧客サイドでの産業廃棄物処理の許可取得
手続きが想定以上に時間を要するため、受注が遅れている

環境関連事業



Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

5

2021年8月期 第2四半期決算概要 貸借対照表

(単位：百万円)

	2020.8末	2021.2末		2020.8末	2021.2末
資産	10,104	9,295	負債	3,060	2,061
流動資産	6,181	5,375	流動負債	3,028	2,023
現預金	2,053	1,619	買掛金・電子記録債務	1,593	800
受取手形・売掛金・電子記録債権	2,363	2,600	前受金	864	722
仕掛品・製品・商品	1,501	1,077	その他	571	501
原材料・貯蔵品	16	11	固定負債	32	38
その他	248	68			
固定資産	3,923	3,919	純資産	7,044	7,233
建物・構築物（純額）	2,107	2,027	資本金・資本剰余金	5,547	5,547
土地	1,548	1,548	利益剰余金	1,516	1,713
その他	268	344	その他	△19	△27

■変動要因について

- ・ 負債である債務の決済が進み、現預金がやや減少。
- ・ 売上計上に伴い、棚卸資産がやや減少。

■健全性について

- ・ 現預金残高は高水準、かつ、有利子負債ゼロを維持。
- ・ 20億円のコミットメントライン契約を継続。
- ・ 自己資本比率は77.8%

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

6

2021年8月期 通期業績予想の修正

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2020年8月期 通期		2021年8月期 通期					
	実績		期初予想 (2020.10.12発表)		修正予想 (2021.4.12発表)			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予想比 (%)
売上高	7,938	100.0	5,849	100.0	5,539	100.0	△30.2	△5.3
売上総利益	1,811	22.8	1,383	23.6	1,515	27.4	△16.3	9.5
販売管理費	932	11.7	1,056	18.1	999	18.0	7.2	△5.4
営業利益	879	11.1	327	5.6	515	9.3	△41.4	57.5
営業外収益	22	0.3	0	-	2	0.0	△90.9	-
営業外費用	16	0.2	23	0.4	24	0.4	50.0	4.3
経常利益	884	11.1	303	5.2	492	8.9	△44.3	62.4
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	884	11.1	303	5.2	492	8.9	△44.3	62.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	749	9.4	277	4.7	328	5.9	△56.2	18.4

(注) 前期比及び期初予想比はその増減比です。

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

7

下期業績はほぼ期初の予定どおりに進捗する見込み。
 上期における増益の影響で、通期でも増益となる見込み。

■売上高

- ・上期で期ズレした案件は下期に計上され、通期売上高は概ね期初予想どおりとなる見込み。
- ・電子部品業界を中心としたFA装置、部品販売、太陽光発電所の検査サービス等が堅調に推移するが、太陽電池製造装置及びパネル解体装置で、やや減収となる見込み。

■売上総利益

- ・通期の売上高は減少するが、上期における原価低減等の効果で増益となる見込み。

■販売管理費

- ・旅費交通費はコロナの影響で上期に続き下期も期初予想より減少する見込み。
- ・研究開発費は期初予想より若干減少する見込み。（92百万円→80百万円）
- ・上記の科目以外は概ね期初予想どおりを見込む。

■営業利益・経常利益

- ・上期における増益の影響で、通期でも増益となる見込み。

■親会社に帰属する当期純利益

- ・期初に計画していなかった連邦税（約80百万円）の支払があるものの、増益となる見込み。

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

8

装置関連事業：太陽電池製造装置

①アメリカ太陽電池市場

■連邦政府による取り組み（バイデン政権）

- パリ協定への復帰
- 中国等からの輸入パネルに対する関税の継続を決定（15%）、関税対象となるパネル種類の拡大
- 2021年の投資税額控除率の引き下げを撤廃、2020年の控除率（26%）を2年間継続することを決定

今後、上記以外にも再生可能エネルギーに対する取り組みが決定されてくると期待されている

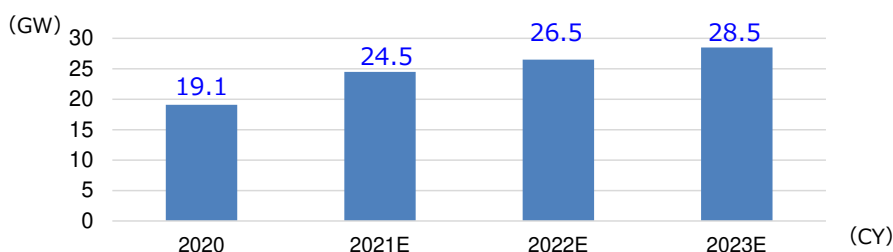
■州政府による取り組み

- 13の州と地域（カリフォルニア州、ニューヨーク州、ハワイ州、ワシントンD.C.等）で既にRE100を義務化
- 審議中の新たな取り組み事例
 - ・マサチューセッツ州：新築住宅への太陽電池の設置を義務付け
 - ・ジョージア州：2050年までにRE100を支援
 - ・アリゾナ州：REの研究開発に約5.5億円を助成

上記以外にも、州や市単位で再生可能エネルギーへの様々な取り組みが実施又は審議されている。

連邦政府及び州政府によるREへの活発な取り組みが継続、米国は今後も高い成長が見込める

米国における太陽電池設置量



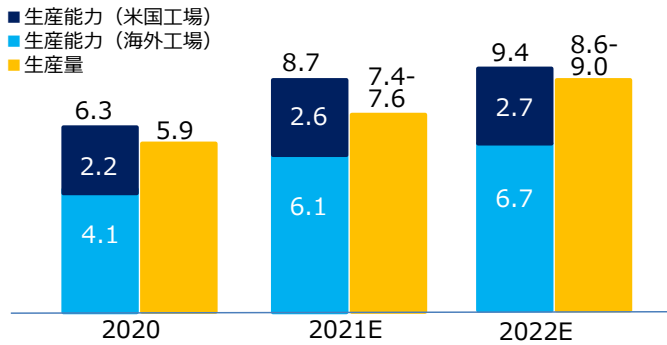
Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

9

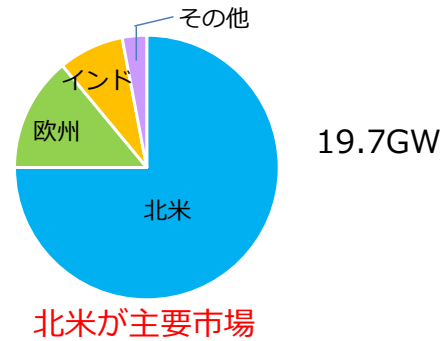
② First Solarとの取引

■ First Solar社の生産及び受注予測等

生産能力及び生産量(GW)



受注見込み案件の地域分布



(出所：First Solar: Q4'20 Earnings and 2021 Guidance Call, Feb. 25, 2021)

■ First Solar社の今後の投資計画

- ・パネルの性能向上と既存ラインの最適化（改造）で生産能力を増強中
- ・新ラインは複数の工場建設地を検討中だが場所・時期は未決定

■ 当社の取引状況と今後の取り組み

- ・既存ラインに対する最適化・アップグレード対応
- ・新規ラインの受注を目指し装置のコストダウン
- ・米国の生産拠点（ミシガン州）から、カスタマーサービスを強化する

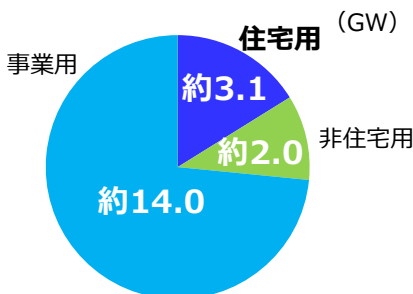
Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

③ その他アメリカ太陽電池関連企業との取引

■ 住宅用パネル向け太陽電池製造装置

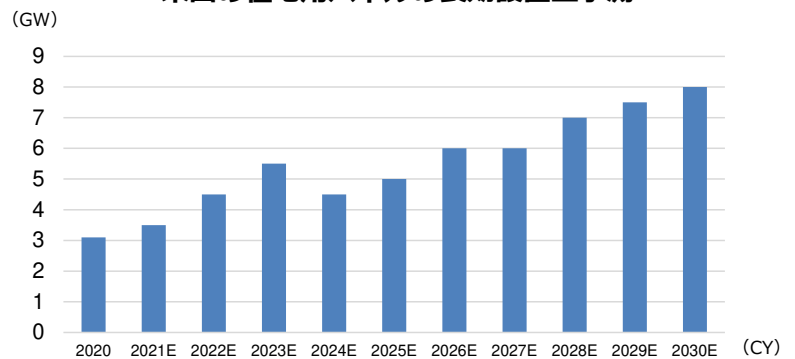
- ・建材一体型の特殊な住宅用パネルを製造する米国企業に対し、コア部分の製造装置を上期に納入。
- ・米国の住宅用太陽電池市場は成長しており、今後の増産計画に対応していく。

米国の用途別太陽電池設置量（2020年）



設置量全体の約15%が住宅用

米国の住宅用パネルの長期設置量予測








(出所：SEIA, Wood Mackenzie: US Solar Market Insight 2021 Y1R)

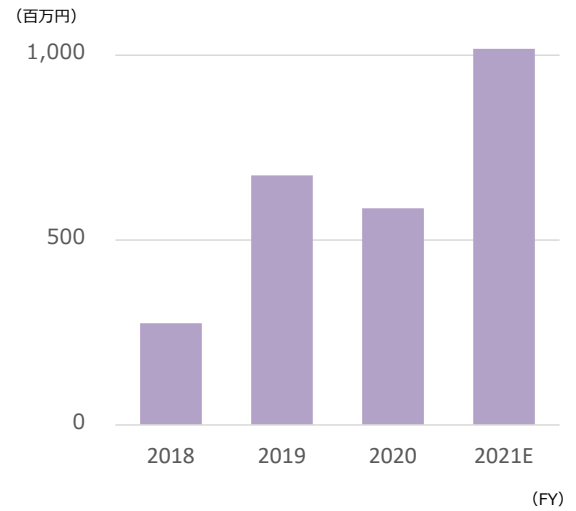
■ 衛星用パネル向け太陽電池製造装置

- ・2021年8月期上期に大手米国企業から製造装置を受注、下期に売上計上を見込む。
- ・日本企業からの引き合いもあり、衛星用太陽光パネルの需要は見込まれている。
- ・当社中古装置が複数の米国企業のR&Dで使用され、特殊パネル用装置として需要が見込まれる。

■ FA装置販売実績

電子部品業界 搬送装置 	自動車業界 車載部品の組立ライン 	ディスプレイ業界 ・フィルム真空貼合装置 ・シート提供装置 
食品業界 包装装置、梱包装置 	その他 真空断熱パネル封止装置 	

FA装置の売上高推移



■ 現状と今後の取り組み

- ・ コロナウイルス感染拡大の影響で国内の自動車業界の設備投資が停滞
- ・ 日本国内向けのFA装置は、コロナ禍でも好調な電子部品業界が中心となっている。
- ・ 真空ラミネーター（貼り合せ装置）のニーズが増えている。
- ・ 日本全体の市場は低調であり、競争環境が厳しいため、米国への展開を拡大していく

米国における海外生産拠点の設置

25年の実績のある米国にもものづくり拠点を設置、米国FA市場への営業を強化する

■ 米国拠点の概要

2021年4月1日付

NPC America Corporation
 ニュージャージー州
 〔営業、保守サービス〕



NPC America Automation Inc.
 ミシガン州
 〔営業、保守サービス、設計、製造〕

■ ターゲット企業

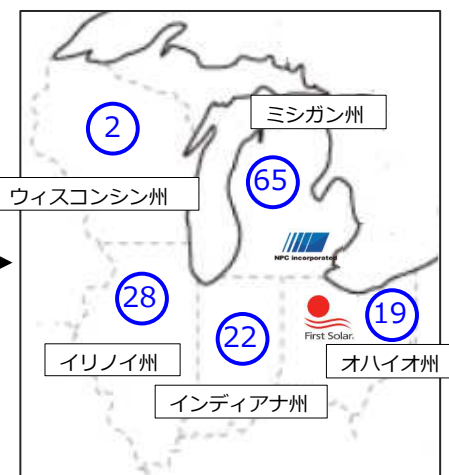
自動車関連（車載部品メーカー等）を中心とした日系企業

周辺エリアでターゲットとなる
日系メーカー・日系商社の数

既に引き合いは多く、
小型装置を取り込み大型受注（松山工場で作製）に繋げる



NPC America Automation Inc.(ミシガン)



① 検査サービス（国内）

■ 検査サービス市場

FIT案件の市場（2020年12月現在）

- ・ 30MW以上の稼働済案件：57件
- ・ 30MW以上の認定済未稼働案件：99件
（稼働しない可能性がある案件を含む公表済みの総数）

（出所：資源エネルギー庁 事業計画認定情報 公表用ウェブサイト）

検査ニーズが引き続き存在

- ・ 使用前自主検査
- ・ 定期メンテナンス

FIT案件以外の市場（新たな市場として増加中）

- ・ 電力購入契約（PPA）＝第三者所有モデル、屋根貸し
 - ・ 自家消費用としての太陽光発電施設
- 例）キリンホールディングス（国内4工場） 三菱マテリアル（グループ2拠点）
川崎重工（西神工場） シーアールイー（自社で開発する大型物流施設）
横浜市（私立小中学校65校） 等

検査ニーズが増加中

- ・ 小～中規模スポット検査
- ・ 法定点検等

依然としてFIT案件の検査ニーズは存在し、FIT案件以外の検査も期待される

■ 今後の取り組み

- ・ FIT認定済未稼働案件の使用前検査や、稼働済み発電所の定期メンテナンスの受注獲得
- ・ FIT案件以外の発電施設の検査サービスの受注獲得
- ・ パートナー企業とのネットワーク及び検査範囲（AC側）の拡大

② パネルリユース販売（国内外）

■ パネルリユース市場

- 現在、リユース可能なパネルの排出は少ない災害によって取り外される被災パネルが中心
- 排出パネルの引き取り依頼が足元で増加中
 - ・ 環境庁が発電事業者にパネルはリユース・リサイクル可能なことを周知するチラシを配布
 - ・ 提案を続けてきたことで当社の認知度や適正処理への意識が向上
- 排出パネルの適正処理への意識を高めるため、環境省が『太陽電池モジュールの適切なリユース促進ガイドライン』の制定に向けてパブリックコメントを募集中

太陽光発電設備の所有者の皆様へ
太陽光発電設備をリユース、リサイクル、処分する際の留意点について

● 使用済みの太陽光パネルには、リユース可能なものがあります。また、リサイクルによって、有用な金属やガラスを回収することができます。● 太陽光発電設備を処分する際には、適切な処理を行う必要があります。

1. ガイドラインの紹介
● 太陽光発電設備は、2012年から開始した再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、大規模導入がなされています。一方、導入初期段階の設備が既に使用済みとなりつつあり、排出が始まっています。● 環境省では、「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」を2016年に第一版、2018年12月には第二版を公表しています。● ガイドラインでは、使用済太陽光発電設備の解体・撤去、リユース、収集・運搬、リサイクルを、適切な方法で実施した太陽光発電設備の取扱いを定めています。本リーフレットでは、解体・撤去及び廃棄物処理業者に関するお問い合わせ先を掲載しています。

2. ガイドラインのポイント
① 処分時の留意事項（有害物質等の情報伝達など）
太陽光パネルメーカー、太陽光発電設備の所有者、解体・撤去事業者、廃棄物処理業者は、リサイクル及び最終処分について、それぞれの役割を果たす必要があります。特に、解体・撤去業者に対して、処分方法や有害物質に関する情報を伝達し、適正な解体・撤去及び処分費用を確保することが重要です。

② リサイクル事例
使用済太陽光発電モジュールを多量に発生する事業者は、ガスや再生用金属（鉛等）を回収・リサイクルすることで資源の有効利用が可能です。

詳細は環境省ホームページをご確認ください。
太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン（第二版）
<http://www.ene.jp/policies/fit/gp/11948.pdf>

お問い合わせ先：
環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室
TEL 03-3581-3351（代表）

■ 今後の取り組み

- ・ 検査サービス等で構築したネットワーク（発電事業者、パートナー企業、産廃業者）の拡大・活用
- ・ パネルが被災した際に補償を行う保険会社との連携の強化
- ・ 海外へのリユースパネル販売チャンネルの充実化

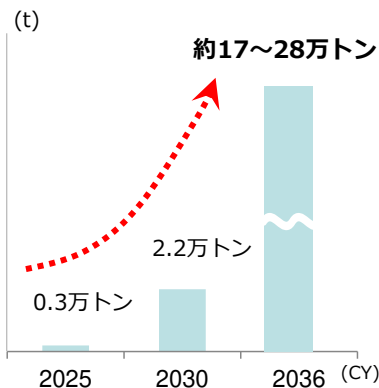
③ パネルリサイクル業（国内）

■ 日本のパネルリサイクル市場

- ・現時点で排出パネルは少ない
→FIT開始後まだ10年しか経過しておらず、事業終了などによるパネルの排出は2030年以降、増加する見通し
- ・検討している企業は多いが、リサイクルに関する法規制がないため様子見をしている

(出所：資源エネルギー庁「太陽光発電設備の廃棄対策について」20181121)

寿命パネル排出量予測



■ 日本市場における今後の取り組み

- ・発電事業者や産廃業者とのネットワークを活用した排出パネルの確保
- ・松山工場における処理能力の向上、R&Dを継続してパネル解体装置の性能向上
- ・リサイクルコスト低減のため、ガラスの用途開発
- ・宮城・東京・京都・岡山以外の地域にもパネル解体装置を納入してリサイクル体制を強化

四国の排出パネルは松山工場で中間処理
それ以外は解体装置納入済みの協力企業で処理



Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

④ パネル解体装置の提供（国内外）

■ パネル解体装置の市場

- 日本
- ・リサイクルの法制度が無いことや、将来的な補助金への期待から、装置導入は様子見が多い
 - ・産業廃棄物処理の許可取得に1年～3年と長い時間が必要のため導入に時間を要する

リサイクルに関する状況

- 欧州
- ・FIT開始から20年以上経過したことや、高性能パネルへの置き換え需要があり排出量が多い
 - ・「PV Cycle」（非営利団体）が、メーカーや輸入業者から資金を集め太陽光パネルをリサイクルする仕組みを作っている
 - ・ガラスや金属（銀、銅、シリコン等）をリサイクルする意識が高い

パネル解体装置のニーズ

- ・PV Cycleが委託する業者選定の入札をしており、入札に参加予定の複数の産廃業者と商談中
- ・ガラスと金属を分離できる『ホットナイフ分離法®』はリサイクル性が高まるため、PV Cycleから高い評価を受けている

「ホットナイフ分離法®」でガラスと金属を分離
 (左) セルシート（シリコン、銀、銅等）
 (中) 割れ無しパネルを分離した板ガラス
 (右) 割れ有りパネルを分離したガラスくず



■ 今後の取り組み

- ・PV Cycleへ入札を予定しているフランス大手企業から全自動解体ラインを受注して実績を積み上げる
- ・日本ではリサイクルしやすいアルミフレームとJ-Boxを分離できるセミオート解体装置を普及させる
- ・欧州以外からの引き合いも増加しており、営業対応していく

Copyright © 2021 NPC Incorporated. All rights reserved.

⑤人工光植物工場栽培野菜「はこひめ」

■スケジュール

予定通り稼働スタート

- 3月：テスト生産開始
- 4月：サンプル商品収穫、販売開始
- 7月：本生産開始（当面は1,200株/日）



一般消費者向け商品



テスト生産風景

■当社植物工場の特長等

- ・リユースパネルを用いた太陽光発電システムを屋上に設置し、ランニングコストを低減できる
- ・愛媛県で初の人工光植物工場の強みを生かし、地産地消として地元からの需要を取り込む
- ・将来的に栽培システムの自動化等の開発を実施する



工場の太陽光発電システム



工場から地元の販売店まで冷蔵車で直送

■「愛媛県認定優良循環型事業所」(スゴeco) 認定(松山工場)

太陽光パネル解体装置の開発・提供、中間処理業、リユースパネル販売、リユースパネルを用いた松山工場での自家発電が評価され、令和2年度優良モデルに認定



新たな取り組み

太陽光パネル以外のサステイナブルなビジネスへの投資、技術開発

廃棄物の選別装置（リサイクル装置）

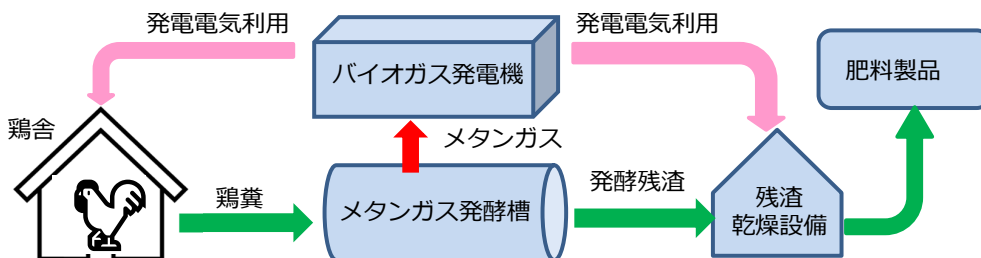
- 現状** ごみ分別は処理場で手作業で行われている
衛生面・安全面の問題と高齢化で人手不足
- ➡ FA装置の提供による課題解決をめざす
画像情報による分別技術を検証中



鶏糞によるクリーンエネルギーを利用した肥料製造

鶏糞をメタン発酵させ、発酵残渣を乾燥設備で乾燥、肥料を製造
発生したメタンガスを利用してバイオガス発電機で発電、乾燥設備や鶏舎の電力を賄う

【イメージ図】



当社事業と関連が深い
SDGsの目標



技術革新
人手不足対策



FA装置

太陽光発電の維持と成長



太陽電池製造装置



発電所の検査サービス

気候変動対策



人工光植物工場



パネル解体装置



パネルのリユース
リサイクル (中間処理)



廃棄物の選別装置
(リサイクル装置)



鶏糞リサイクル

リサイクル

今後も『常に変化に対応し、環境を意識して』事業を成長させていく

IRメールマガジンのご案内



IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット

- 適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。
- 月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。
- 不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、
地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。